

電力予測システム（ZEBLA）活用による省エネ推進

令和元年度省エネ大賞
省エネルギーセンター会長賞
富士電機機器制御株式会社
吹上事業所

（工場）2020年度産構審WG報告

- 従来ZEBLA（BEMS版）をFEMS対応化、様々な過去データから予測モデルを作成し最適なTPO制御（Time Place Occasion）を行う事で省エネ対策の自動化を実現した。

- ①ピークチェンジ：設定値を超える需要が予測された場合、発電機の台数制御で不足分を補充する。
- ②ピークカット：発電機でも足りない時は空調強度を調整したり、照明など、優先度の低い順番に自動停止させ、契約電力を越えない様に制御する。
- ③ピークシフト：需要予測を長期に見える化する事で、生産活動に影響しない時間帯に稼働時間をシフトする。

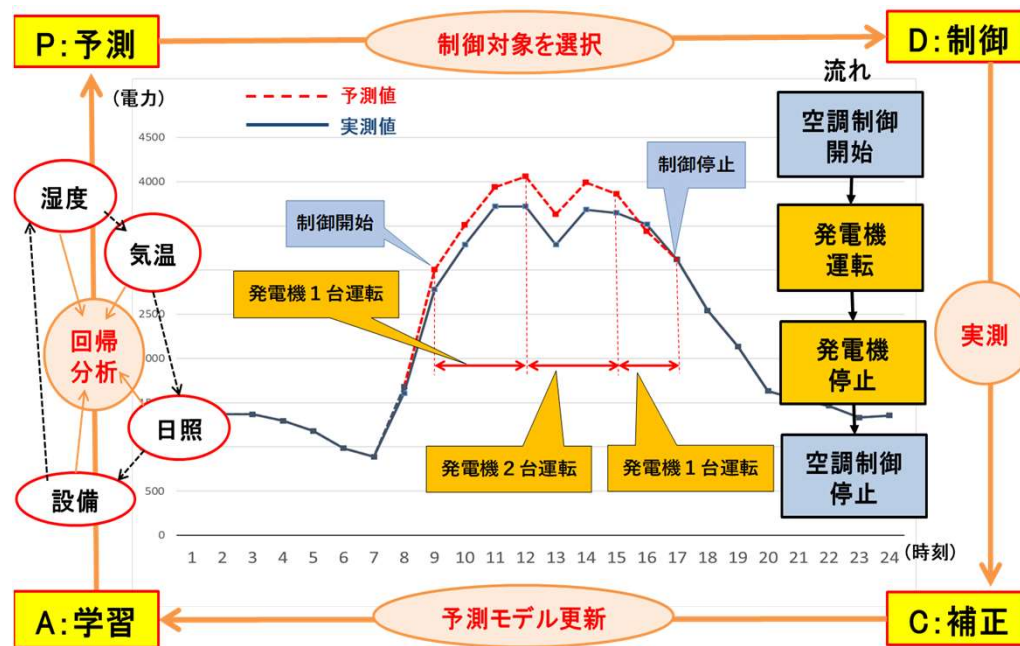
当該事例の効果

事業所全体のエネルギー消費量

2015年度比
▲25.7%

（原油換算1,167kl/年）

ZEBLA制御事例



ZEBLA制御概念図

